9月1日～10月31日は 秋の農作業安全運動

農作業中の死亡事故の大半を占める原因とは？

社団法人日本農業機械化協会「あなたにもできる農作業事故の救急処理」より

稲や大豆の収穫など、農作業が集中する農繁期には農作業事故が多発し、死亡事故につながる場合もあります。

農林水産省の調査によれば、農作業事故の原因として最も多いのは、農業機械作業によるもので、死亡事故の約7割を占めています。その内訳は、乗用トラクターなど機械の転倒・転落（49％）、次いで機械と木やハウス支柱との挟まれ（17％）、機械の回転部への巻き込まれなどです。

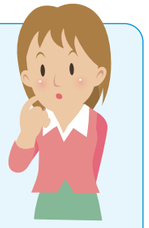
「いつもやっていることだから大丈夫」の慣れやちょっとした気の緩みが、大事故につながります。農作業事故ゼロを目指して、安全確認を心掛けてください。

農業機械の作業での注意点

- 道路の路肩やほ場の出入り口、傾斜地でのトラクターなどの転倒、転落に十分注意しましょう。
- 道路を走行する時には、反射板や低速車マークを取付け、後方から追突されないように十分注意しましょう。
- 農機具の取扱説明書の確認や、整備点検を行い安全な運転操作に努めましょう。
- 機械の修理・点検や稲わらなどを除去する時は、必ずエンジンを停止させましょう。

詳しくは　県園芸課　☎0952(25)7120　✉engei@pref.saga.lg.jp

就業構造基本調査にご協力をお願いします



Q どんな調査なの？

A 10月1日現在で、仕事をしているかどうかや仕事に関する希望などを調べるため、5年に一度、全国で実施される調査です。

Q 全世帯で実施されるの？

A 日本の縮図になるように、全国各地の調査世帯は無作為に選定されます。全国で約45万世帯、佐賀県では約7,500世帯について調査します。

Q 調査結果は何に使われるの？

A 国や都道府県が実施する雇用政策および経済政策などの企画・立案する上で、重要な指標として利用されます。

個人の情報は保護されます

調査関係者には、統計法で秘密の保護義務が厳格に定められています。
佐賀県知事が任命した統計調査員は
「調査員証」を携帯していますのでご確認ください。

詳しくは　県統計調査課　☎0952(25)7036　✉toukeichousa@pref.saga.lg.jp

佐賀みかんJ-PONを台湾ナンバーワンブランドに

佐賀みかん SAGA MIKAN J-PON

今後の目標は…

- 台湾でのシェア40％を目指し、「佐賀みかん　J-PON」を他県産を寄せ付けないナンバーワンブランドに育てます。
- 「佐賀みかん J-PON」をけん引役とし、高品質な県産農産物を東アジアに売り込み、佐賀ブランドを確立させます。

生産量日本一を誇る佐賀県のハウスみかん。今、台湾では「佐賀みかん　J-PON」というブランド名で販売されています。

これまでも台湾では高級百貨店を中心に佐賀県産ハウスみかんが販売されていましたが、佐賀県産ということがほとんど知られていないという課題がありました。そこで、「佐賀みかん　J-PON」という海外向け新ブランド名と、イメージキャラクター「アリエル・リン」さん（台湾の若手女優）を前面に打ち出したキャンペーンをスタート。知名度を上げるとともに、その濃厚な甘みと果汁を味わっていただくため試食宣伝も展開中です。

目指すは台湾ナンバーワンブランド。台湾で「ハウスみかんといえば佐賀みかん J-PON」と言われるよう、ブランド確立に取り組んでいきます。

詳しくは　県流通課　☎0952(25)7094　✉ryuutsuu@pref.saga.lg.jp

NPO法人Sagaよかとこ発信

CSO活動紹介

■主な取り組み：季刊郷土文化誌「みを（澪）」の制作、バスツアーや講演会など　■会員数：8名（スタッフの数）
■お問い合わせ：佐賀市六座町5-10　TEL&FAX 0952(29)7246　✉mio-saga@snow.ocn.ne.jp

佐賀の人、くらし、自然を再発見したい

代表 樋口（ひぐち） 榮子（えいこ）さん

NPO法人Sagaよかとこ発信は、佐賀県民が持っている素晴らしさや、佐賀の良さをアピールしようと平成15年に発足した団体です。スタッフは「森と海を結ぶ会」など市民活動をしているボランティアメンバー8名で、郷土文化誌「みを（澪）」の制作や、読者の方々との交流を深める日帰りバスツアーなどのイベントを催しています。

「みを（澪）」は年4回発行で、佐賀の歴史や自然、文化や人物にさまざまな角度から光を当て、知っているようで知らなかった地域の魅力を再発見しています。書店での販売のほか、約1,000人の会員に届けていますが、なかには県外に住む家族や知人に冊子を送ったり、県外から定期購読をしてくださっている方もいます。

昨年10月には、書家の中林梧竹や煎茶を広めた売茶翁など、さまざまな分野で活躍した県出身者10人を取り上げた「十彩の風～佐賀の心惹かれる人物を辿る旅～」を出版しました。来年3月には続編を出す予定で、その執筆作業にも取りかかっています。

一人でも多くの方に「みを（澪）」や「十彩の風」を手にしていただき、佐賀の風土の奥深さを感じていただければと思います。

7月に催した小城の名所を訪ねる日帰りバスツアー。
10月下旬にもバスツアーを予定。

CSOとは（シーエスオー）　NPOのほか、婦人会や老人会など地域で公共的な行動をする団体をまとめて、CSO（Civil Society Organization／市民社会組織）と呼称しています。

詳しくは　県県民協働課　☎0952(25)7374　✉kenminkyoudou@pref.saga.lg.jp
CSOブログをご利用ください。http://www.colorful-cso.jp/